



平成 28 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 双 葉 電 子 工 業 株 式 会 社
代 表 者 取 締 役 社 長 桜 田 弘
(コード番号 6986 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 中 村 正 行
経営企画本部長
T E L 0 4 7 5 (2 6) 0 1 6 0

通期業績予想と実績との差異、営業外費用および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 27 年 11 月 6 日に公表いたしました平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）の通期連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、営業外費用および特別損失の計上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想値と実績値との差異

(平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|--------|-------|--------|-------------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 71,400 | 1,700 | 2,400 | 700 | 16.05 |
| 実 績 値 (B) | 69,830 | 1,493 | 1,140 | △1,946 | △44.75 |
| 増減額 (B－A) | △1,569 | △206 | △1,259 | △2,646 | － |
| 増減率 (%) | △2.2 | △12.2 | △52.5 | － | － |
| (ご参考)前期実績 (平成 27 年 3 月期) | 70,141 | 1,901 | 4,330 | 567 | 12.77 |

(2) 差異の理由

通期の連結業績につきましては、電子部品事業におけるウェアラブル向け有機ELディスプレイの需要が計画に比べて弱含んだこと、電子機器事業の欧米を中心とする海外市場の伸び悩みとロボット用サーボの需要が一段落したこと、ならびに生産器材事業において韓国および中国市場の減速の影響を受けたことにより、売上高および営業利益は前回予想値を下回る結果となりました。また、期末日時点の為替レートが当社想定 の 1 米ドル 120 円に対して円高に推移し、後記のとおり、営業外費用として為替差損 845 百万円を計上したこと、および特別損失として減損損失 2,016 百万円を計上したことにより、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想値を下回る結果となりました。

2. 営業外費用の計上について

昨今の為替相場の変動により、平成28年3月期（平成27年4月1日～平成28年3月31日）において連結で845百万円、単体で689百万円の為替差損を営業外費用に計上いたしました。

3. 特別損失の計上について

(1) 減損損失（単体および連結）

電子部品事業および生産器材事業において、収益性の低下による減損の兆候がみられたため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を検討した結果、当社の北茨城工場および中国天津市等の連結子会社が保有する固定資産の一部について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、連結で2,016百万円、単体で658百万円を減損損失として計上いたしました。

(2) 関係会社出資金評価損（単体）

当社グループ子会社の財政状態を勘案した結果、当社において関係会社出資金評価損402百万円を計上いたしました。なお、本件による連結業績への影響はございません。

以 上